

1 消防団による一斉放水訓練 2 水消火器を使った初期消火訓練 3 応急手当訓練では、地区住民が消防団員の指導を受けながら、AEDの使い方などを学びました。 4 アルファ米を使用したおにぎりなどの炊き出し訓練 5 豊田地区自主防災会による火災防備訓練 6 煙体験ハウスで火災発生時の煙の怖さを体験しました。



突然訪れる災害に備えて 大石田町防災訓練

大石田町防災訓練が10月14日(日)に旧豊田小学校グラウンドで行われ、豊田地区自主防災会などの地区住民や消防団第4分団を中心とした町の消防団員ら約200名が参加しました。今回の防災訓練は、山形盆地北部断層帯を震源とする地震が発生し、町内で震度6強を観測したとの想定で行われました。訓練では住民らの避難訓練や消防隊員による一斉放水、地区住民による水消火器を使った初期消火訓練、炊き出し訓練、応急手当訓練などが行われました。

参加者らは被害を最小限に食い止めるための実践的な技術の向上を図りながら、災害に対する意識の高揚に努めていました。

防災マップの再確認を！

町では、おとし「大石田町防災マップ」を全戸に配布しています。災害はいつどこで発生するか予測できません。地域や各家庭で日ごろから自分が住む地域の危険箇所や避難場所を確認し、いざというときに備えることが重要です。

また、ただちに避難をするためには、日ごろから非常持出品を準備しておくことも重要です。この機会に防災マップを確認して、家庭での備えを万全にしましょう。



大石田まつり × インスタグラム むらやま徳内まつり フォトコンテスト結果発表！



(左)大石田部門 最優秀賞 golden_field 様 (涌谷町/男性) 維新祭で花笠踊りを披露する女性の凛とした美しさを切り取った1枚です。

(上)村山部門 最優秀賞 zuhotin 様 (仙台市/女性) 一番の見どころ・ポーズが決まった瞬間が収められています。

8月13日~28日にかけて、大石田町と村山市の協力隊が両市町のまつりをテーマにフォトコンテストを開催しました。写真共有アプリ「インスタグラム」を使用することで、2つのまつりの情報発信者を増やそうという試みです。応募数90作品の中から、大石田部門、村山部門で各5作品を受賞作として選出しました。



大石田町・村山市 地域おこし協力隊合同企画
インスタグラムフォトコンテスト
「北村山まつりジェニック2018」
開催期間：8月13日(月)~28日(火)
応募数：90作品



今月は遠藤がお届けしました！

地域おこし協力隊コラム
大石田町エトペソラ

今回は、東京で開催される移住セミナーや、10月11日に参加予定の催しの準備など、周辺自治体の方と一緒に仕事をすることが多くありました。

北村山の9名の協力隊メンバーはそれぞれ全く違う内容で活動しています。フォトコンの企画でもそうでしたが、最近よく考えることは、「地域おこし協力隊の活動の正解ってなんだろう？」ということ。自分たちだけでなく他地域の協力隊、町民の方々、観光客の方など話をしながら日々模索しています。

恐らく決まった正解はなく、地域の取り組むべき課題に対して向き合っているかどうかが、各地での「正解」なのかなと思います。

大石田町でも地域おこし協力隊の二期メンバーを迎える予定です。方向性がズレないように一段と気を引き締めて今後の動きを精査しますので、引き続きよろしくお願いたします。

SNSで大石田町のエトペソラを発信中！！／ブログ・Facebook「大石田町エトペソラ」／Instagram「oishida_et_pesora」